

令和元年10月15日 信者心の道勉強会

神 示

祈願をすると 神神魂の力が働く

「教え」に重なる心を願い求めて祈願をすると

悪あしき「実体」は抑え込まれ

「運命」に導かれて心気持ちが動く

希望の光みちが通る環境を世社会に表すため

使者供丸齋は

この世には「三筋の道」の世界があることを教えた

人々は 神の世界の力不思議を体験し 奇跡を求めて集まった

教会の歴史全てが

神魂の運命によって導かれ 守られた救世証しの姿

信者に申す

今は代神 使者供丸齋の歩救世人生みを

「人生」の手本に生きる時時代

救世環境の礎を固められた姿功績に

感謝の思いを深めて生きる

自然と信者の心に 「生きる」自信 信者の誇りが芽吹く

「道」を守って日々じちにち生きられるように

「教え」を学び 祈願重ねて「人生」をゆく

神の心が見えてきて 愛あいしん心 愛語に生きる人と成る

「代神の人生」心の姿が ここにある

↙つの世界があるからこそ、今生きるときに守らなくてはならないのが、神、仏、人の道の教えです。神の道という目には見えない神に向ける心を軸として、両親、家族、目上に対する仏の道、周りのさまざまな人と支え合って生きる人の道、三筋の道を守って暮らすところに、希望の光みちが通ります。

神の存在も、神の教えも理解できない

祈願すれば、そこに神魂の運命が働きます。目には見えなくても、祈願する人の運命に神魂の運命が重なるのです。

神魂のお力が最も強く動くのが、神魂が宿る神総本部であり、偉光ひかりのやかた会館です。

また、各家にお預かりする御神体の御前で真心込めて祈願すれば、必ずその思いが神魂に届きます。どこにしようと、常に神魂を感じ、祈願で神魂と共に生きることです。

そのときに、神の教えに生きられる心を求めて祈願です。すると、悪い実体が抑えられ、運命に重なる心の動きが取れるようになります。実体が引き上げられていきます。

現在のように希望の光みちが通る環境とするために、神の使者として供丸齋先生の歩みがありました。希望の光みちが通る環境とは、道を守れば光みちが通る神魂の時代です。それを目指して、誰もが欠かせない三筋の道、神、仏、人の道があることをお教えくださったのです。

神の世界と仏の世界と人の世界、三

運が得られるのです。

供丸齋先生が神示教会の礎を築かれた時代があり、神の化身である供丸姫先生が希望の光みちを開かれた時代もあって、開運がかなう今を迎えました。その歴史の全てが、神魂の運命によって導かれたものです。

今は代神である供丸齋先生の歩まれた救世の道を、信者一人一人の人生の手本にすることを、神はご指導くださっています。迷ったときには、供丸齋先生がどうされたかを考えるのです。

希望の光みちが通る環境を築くため、力を尽くされた供丸齋先生に、感謝の思いを忘れずに生きることです。そこに、自然と心に生きる自信と誇りが芽吹くと、神は表されました。

だからこそ、道を守って暮らせるように、教えを学び、祈願を重ねて生きるのです。すると、神の心が見え、愛心、愛語に生きられます。代神の思いは過去のものでなく、道を守れば光みちが通る時代だからこそ、今も生き続けているのです。